

《東京公演・スペシャルゲスト》



川井 郁子 Ikuko Kawai (Violin)

国内外の主要オーケストラをはじめ、指揮者チョン・ミョンフンやテノール歌手ホセ・カレーラスなどの世界的音楽家と共演。またジプシー・キングス、バレエ・ダンサーのファルフ・ルジマトフ、熊川哲也、フィギュアスケートの荒川静香らとも共演。2008年アメリカデビュー。2013年、映画「北のカナリアたち」で第36回日本アカデミー賞最優秀音楽賞を受賞。社会的活動として「川井郁子 Mother Hand 基金」を設立。国連 UNHCR 協会国連難民親善アーティスト、日本ユネスコ国内委員会委員を務める。



石垣 征山 Seizan Ishigaki (尺八)

尺八を父・初代石垣征山、人間国宝 山本邦山に師事。オーストラリア、アルゼンチン、ポーランドなど各国で演奏し高い評価を得たのち、都山流師範試験に首席登第、父、征山の名を襲名。現在まで世界各地で公演。また神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団など、オーケストラとの共演も数多い。HIDE+HIDE、AUN-J クラシックオーケストラとして各CD5枚をそれぞれリリース。映画「うみやまあひだ」に曲を提供するなど作曲活動も行う他、演奏会、ライブ、TV、ラジオ出演や学校公演などでの演奏も多数。

《名古屋公演・スペシャルゲスト》



ロベルト・杉浦 Roberto Sugiura (Singer)

1993年、アルゼンチンに渡り、現地のミュージシャンらとコンサートなどで共演するうちに、歌唱力が評判となり、タンゴ歌手の大御所ロベルト・ルフィーノに認められ、「ロベルト」の名を正式に与えられる。1997年、アントニオ・アグリラを迎え、「ロベルト・杉浦／レメンブランザ」をリリース。アメリカの世界長寿番組「サバド・ヒガンテ」にレギュラー出演をし、アメリカ及び全ラテンアメリカ諸国に大ブレイクを引き起こす。2010年、「ダメウンベソ」をリリースし、日本でのメジャーデビューを果たす。

《出演アーティスト／シンガー》



セシリア・カサード Cecilia Casado (Singer)

16歳の時に人気TV歌番組「グラン・デビュー」で注目を集め、1995年には若手シンガーの登竜門の“ウーゴ・デル・カリル賞”を受賞。2000年、“タンゴ x 2”カンパニーの大ヒットショー“ワン・ナイト・オブ・ザ・タンゴ”にレギュラー出演し世界中を巡演、エレガントな美貌に加え、コブシのきいた力強い節回しと安定した歌唱で世界中の観客を魅了した。ブエノスアイレスでは、劇場公演やTVをはじめ数多くのタンゴライブハウスに出演、大勢のファンを持つ人気シンガー。日本での本格的なステージは今回が初めてとなる。